

共働きのご夫婦に  
お送りする

# 必見情報



vol.1

4回シリーズの  
1回目です

## Check1 共働き「収入アップ＝貯蓄増加」の勘違い

共働きで家計の収入は増えても、支出も増加しがちです。その結果、黒字額（貯蓄可能額）が思ったより増えないケースもあります。夫婦双方が忙しくなることで、家計管理をしづらくなることも要因となります。

夫39歳、妻37歳、子ども1人（中学生）の家計の事例

### ■共働き前の家計収支

収入	夫 給与収入(手取り)	290,000円
	収入計	290,000円
支出	食費	48,000円
	水道光熱費	12,000円
	通信費(電話・携帯)	9,000円
	雑費(日用雑貨など)	10,000円
	教育費(習事含む)	28,000円
	住宅費(住宅ローン・管理費・修繕積立金)	82,000円
	車費用1台分(ガソリン代・駐車場代等)	22,000円
	こづかい(夫)交際費含む	20,000円
	こづかい(妻)交際費・理美容費含む	8,000円
	こづかい(子ども)	4,000円
	家族レジャー費(外食含む)	8,000円
	保険料(月払)	23,500円
	支出計	274,500円
家計収支(黒字)	15,500円	

### ■共働き後の家計収支

収入	夫 給与収入(手取り)	290,000円
	妻 パート収入(手取り)	80,000円
収入計	370,000円	
支出	食費	62,000円
	水道光熱費	12,000円
	通信費(電話・携帯)	11,000円
	雑費(日用雑貨など)	14,000円
	教育費(習事含む)	28,000円
	住宅費(住宅ローン・管理費・修繕積立金)	82,000円
	車費用2台分(妻の通勤用軽自動車追加)	37,000円
	こづかい(夫)交際費含む	25,000円
	こづかい(妻)交際費・理美容費・被服費含む	18,000円
	こづかい(子ども)	4,000円
	家族レジャー費(外食含む)	22,000円
	保険料(月払)	23,500円
	支出計	338,500円
家計収支(黒字)	31,500円	



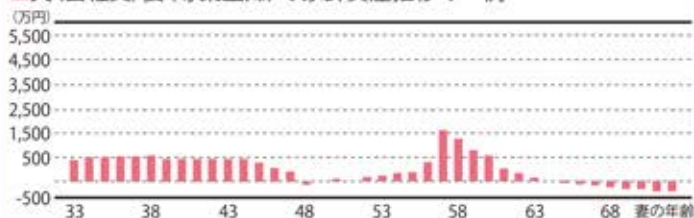
共働き家計の支出の中では、「外食費」、「被服費」、「理美容費」、そして「交際費」が増加します。通勤用に車がもう一台必要になると、その購入費用や維持費がかかってきます。小さな子どもがいれば保育費用もかかります。共働きをすることで、収入が増えたからお金を使っても大丈夫と気が緩み、やりくりが厳しくなることも珍しくありません。

一方で、夫婦が協力して家計管理をしている場合は、しっかりと財産が増えていた家計も多いです。ちょっとした考え方や工夫によって、家計や財産の将来像も大きく変わってきます。

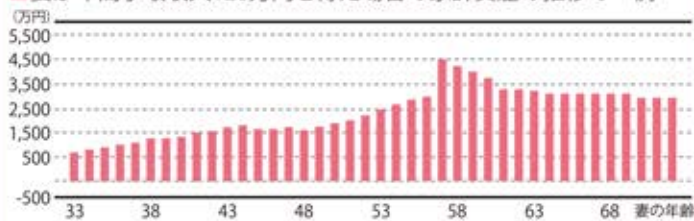


## Check2 共働きの妻が会社を辞めたら?

### ■夫(会社員)妻(専業主婦)の家計資産推移の一例



### ■妻が年間手取り収入120万円を得た場合の家計資産の推移の一例



※出典/参考 くらし塾 きんゆう塾(春号)



妻の収入がある場合の方が、常に家計資産にゆとりがあることが一目瞭然です。共働きを辞めると、家計の収支バランスが崩れます。毎月の貯蓄額が少なくなり、家計の中での金の使い方も変わってくるようになります。頭ではわかっていても、実際にはこれまでの支出水準が変わっていないこともあるので注意が必要です。

